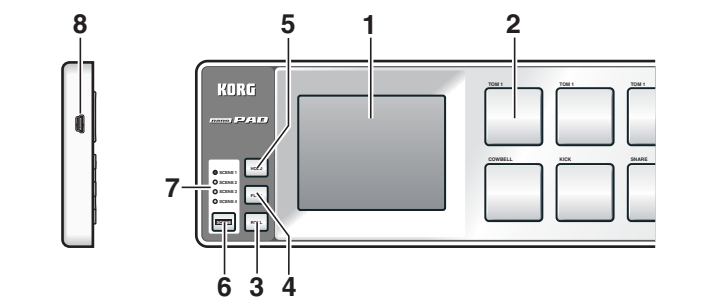


はじめに

このたびは、コルグ・スリムラインUSBコントローラーnanoPADをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でご使用ください。

▲ 本機の機能を使用するには、ご使用になるアプリケーションの設定が必要です。アプリケーションの取扱説明書を参照し、設定してください。

各部の名称と機能



1. X-Yパッド

X-Yパッドを操作すると、コントロール・チェンジ・メッセージ、またはピッチバンド・メッセージを送信します。

2. トリガー・パッド

ノート・メッセージ、またはコントロール・チェンジ・メッセージを送信します。

3. [ROLL]ボタン

ロール機能をオン、またはオフにするときに押します。

ロール機能とは
ドラム奏法のスネアなどを細かく連打する奏法をシミュレートした機能です。

ロール機能を使う
[ROLL]ボタンをオンにし、ボタンを点灯させます。X-Yパッドに触れながらトリガー・パッドを押します。トリガー・パッドを押している間はロール奏法をシミュレートし、離すとロール奏法は止まります。

▲ ロール機能がオンになっていてもX-Yパッドから指を離すとロール奏法は行いません。**▲** ロール機能がオンのときは、X-Yパッドを操作してもコントロール・チェンジ・メッセージ、またはピッチバンド・メッセージを送信しません。

X-Yパッドの動作
X軸
　　ロールのスピードを操作します。X-Yパッドで左端へ操作するほどロール・スピードが遅くなり、右端へ操作するほどロール・スピードが速くなります。
Y軸
　　ロールの音量(ベロシティ)を操作します。X-Yパッドで下端へ操作するほどベロシティの値が小さくなり、上端へ操作するほどベロシティの値が大きくなります。

4. [FLAM]ボタン

フラム機能をオン、またはオフにするときに押します。

フラム機能とは
ドラム奏法のスティックを持った両手で少しだけタイミングをずらしてスネアなどを同時に叩く奏法をシミュレートした機能です。

フラム機能を使う
[FLAM]ボタンをオンにし、ボタンを点灯させます。X-Yパッドに触れながらトリガー・パッドを押します。

▲ トリガー・パッドを押す前にX-Yパッドに触れていないとフラム奏法は行いません。**▲** フラム機能がオンのときは、X-Yパッドを操作してもコントロール・チェンジ・メッセージ、またはピッチバンド・メッセージを送信しません。

▲ ロール機能とフラム機能を同時にオンすることはできません。

X-Yパッドの動作
X軸
　　1打目から2打目が発音されるまでの時間を操作します。X-Yパッドで左端へ操作するほど2打目までの時間が長くなり、右端へ操作するほど2打目までの時間が短くなります。
Y軸
　　2打目のベロシティを操作します。X-Yパッドで下端へ操作するほど2打目のベロシティの値が小さくなり、上端へ操作するほど2打目のベロシティの値が大きくなります。

5. [HOLD]ボタン

ホールド機能をオン、またはオフにするときに押します。

ホールド機能とは
X-Yパッドから指を離しても、離れたポイント(MIDIメッセージの値)を保持し、X-Yパッドに触れている状態を保ちます。例えば、ロール機能とホールド機能をオンにしてロール奏法を行ったとき、X-Yパッドから指を離してもトリガー・パッドを押している間はロール機能が続きます。

6. [SCENE]ボタン

シーンを切り替えます。nanoPADは、トリガー・パッドやX-Yパッドにあらかじめパラメーターが割り当てられています。これらの設定をまとめてシーンと呼びます。nanoPADは4つのシーンを持ちます。これらのシーンは、まとめてシーン・セットと呼びます。

note 各コントローラーの設定は、KORG KONTROL Editorを使って編集することができます。(→「詳細な設定をしたい方へ」)

7. シーンLED

選択しているシーン番号のLEDが点灯します。

8. USB端子

USBケーブルでコンピューターと接続します。

セットアップ

動作環境

Mac OS X

対応コンピューター
　Mac OS Xの動作環境を満たすUSBポートを搭載したIntel、またはPowerPCプロセッサのApple Macintosh

対応OS
　Mac OS X 10.3.9、またはMac OS X 10.4.7以降

Windows

対応コンピューター
　Microsoft Windows XP/Vistaの動作環境を満たすUSBポート搭載のコンピューター（USB chipsetはIntel社製を推奨）

対応OS
　Microsoft Windows XP SP2以降、またはMicrosoft Windows Vista SP1

接続と電源の入れ方

USBケーブルでコンピューターのUSB端子と接続します。電源が入り、シーンLEDが点灯します。



▲ USBハブを使用しているとき、電力不足で電源が入らない場合があります。その場合はUSBハブを経由せず、コンピューター本体のUSB端子に直接nanoPADを接続してください。

ドライバのインストール

インストール

nanoPADは、最初にコンピューターに接続すると、自動的にUSB-MIDIドライバがインストールされます。

▲ Microsoft Windows XP/Vistaの場合、標準でインストールされるUSB-MIDIドライバは、同時に複数のアプリケーションからnanoPADを使用することができません。複数のアプリケーションでnanoPADを同時に使用する場合は、KORG USB-MIDI Driverをインストールする必要があります。また、複数のアプリケーションから利用しない場合でも、より動作の安定しているKORG USB-MIDI Driverのインストールをお勧めします。コルグ・ホームページよりKORG USB-MIDI Driverをダウンロードし、付属のドキュメントに従ってインストールしてください。(http://www.korg.co.jp/)

▲ KORG KONTROL Editorを使用するときは、KORG USB-MIDI Driverをインストールしてください。

ドライバのポート

nanoPADのUSB-MIDIは、コンピューター側から見ると1IN-1OUTになります。ポート名はご利用のOS、KORG USB-MIDI Driverの有無によって、次の表のように変わります。

OS	MIDI IN	MIDI OUT
Mac OS X 10.3 または 10.4	nanoPAD Port 1	nanoPAD Port 1
Mac OS X 10.5以降	nanoPAD PAD	nanoPAD CTRL
Windows XP	USB オーディオ デバイス	USB オーディオ デバイス
Windows Vista	nanoPAD	nanoPAD
Windows XP/Vista + KORG USB-MIDI Driver	nanoPAD 1 PAD	nanoPAD 1 CTRL

MIDI INポート
nanoPADの各コントローラーからのMIDIメッセージが入力されます。コンピューターのアプリケーションをnanoPADで操作する場合に、アプリケーションのMIDI入力設定でこのポートを選択してください。また、KORG KONTROL Editorが、nanoPADをコントロールする際にも使用します。

MIDI OUTポート
KORG KONTROL Editorが、nanoPADをコントロールする際に使用します。

詳細な設定をしたい方へ

▲ 以下の設定は、KORG KONTROL Editorで設定します。本機のみで設定はできません。KORG KONTROL Editorは、コルグ・ホームページよりダウンロードしてください。(http://www.korg.co.jp/)

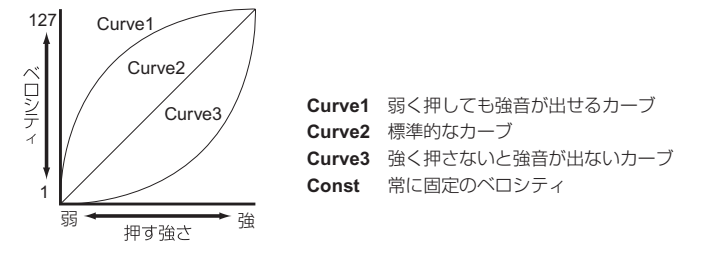
グローバル

nanoPADの全体的な設定を行うのがグローバル・パラメーターです。ここでの設定は、シーンへ共通して反映されます。

Global MIDI Channel [1... 16]

操作するアプリケーションのMIDIチャンネルに合わせて設定します。

Velocity Curve [Velocity Curve 1...3/Const Velocity]
トリガー・パッドを押す強さによる音量強弱の変化の度合いを設定します。3種類のベロシティ・カーブ、または固定値のいずれかを設定します。



Const Velocity [1... 127]

ベロシティ・カーブをConstに設定したときに送信するベロシティ値を設定します。

トリガー・パッド

アサイン・タイプによってノート・メッセージ、またはコントロール・チェンジ・メッセージを送信します。トリガー・パッドに割り当てるメッセージ、送信するMIDIチャンネル、トリガー・パッドの動作、ノート・ナンバー、コントロール・チェンジ・ナンバー、オン/オフ時に送信する値、ロール/フラム機能の有効/無効をトリガー・パッド単位に設定することができます。1個のトリガー・パッドには(アサイン・タイプによって)、最大8つのノート・ナンバー、またはコントロール・チェンジ・ナンバーを割り当てることができ、同時に送信することができます。

note 1個のトリガー・パッドで複数のノート・メッセージ、またはコントロール・チェンジ・メッセージを送信する場合は、すべて同じベロシティ、またはOn Value/Off Valueで送信します。

MIDI Channel [1... 16/Global MIDI Channel]

トリガー・パッドを押したときに送信するMIDIメッセージのMIDIチャンネルを設定します。“Global MIDI Channel”へ設定した場合は、グローバルMIDIチャンネルで送信します。

Assign Type [No Assign/Note/Control Change]

トリガー・パッドに割り当てるメッセージを設定します。無効、ノート・メッセージ、またはコントロール・チェンジ・メッセージを割り当てることができます。

Pad Behavior [Momentary/Toggle]

トリガー・パッドの動作を次の2種類からひとつ選びます。

Momentary	トリガー・パッドを押したときにNote On/On Valueを、戻したときにNote Off/Off Valueのメッセージを送信します。
Toggle	トリガー・パッドを押すたびに交互にNote On/On ValueとNote Off/Off Valueのメッセージを送信します。

Note Number [C-1...G9/No Assign]

送信するノート・メッセージのノート・ナンバーを設定します。

Control Change Number [0... 127/No Assign]

送信するコントロール・チェンジ・メッセージのコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

On Value [0... 127]

トリガー・パッドをオンにしたときに送信するメッセージの値を設定します。

note アサイン・タイプが“Control Change”のときのみ設定できます。

Off Value [0... 127]

トリガー・パッドをオフにしたときに送信するメッセージの値を設定します。

note アサイン・タイプが“Control Change”のときのみ設定できます。

Roll/Flam Enable [Disable/Enable]

ロール/フラム機能の有効/無効を設定します。無効に設定したトリガー・パッドは、ロール/フラム機能をオンにしても動作しません。

X-Yパッド

MIDI Channel [1... 16/Global MIDI Channel]

X-Yパッドを操作したときに送信するMIDIメッセージのMIDIチャンネルを設定します。“Global MIDI Channel”に設定した場合は、グローバルMIDIチャンネルで送信します。

X軸方向/Y軸方向

アサイン・タイプによってコントロール・チェンジ・メッセージ、またはピッチバンド・メッセージを送信します。送信するMIDIチャンネル、X軸/Y軸へそれぞれ割り当てるメッセージ、コントロール・チェンジ・ナンバー、ポラリティ(極性)を設定することができます。

Assign Type [No Assign/Control Change/Pitch Bend]
X-YパッドのX軸方向、またはY軸方向に割り当てるメッセージをそれぞれ設定します。無効、コントロール・チェンジ・メッセージ、またはピッチバンド・メッセージを割り当てることができます。

Control Change Number [0... 127]
送信するコントロール・チェンジ・メッセージのコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

Polarity [Normal/Reverse]

X-YパッドのX軸方向、またはY軸方向の値のポラリティ(極性)を設定します。

Normal	通常の動作をします。X軸方向は左端が小さい値に、右端が大きい値になります。Y軸方向は下端が小さい値に、上端が大きい値になります。
Reverse	大きい値と小さい値が反転します。X軸方向は左端が大きい値に、右端が小さい値になります。Y軸方向は下端が大きい値に、上端が小さい値になります。

タッチ/リリース

X-Yパッドに指を触れたときや、離れたときにコントロール・チェンジ・メッセージを送信します。タッチ/リリースの有効/無効、コントロール・チェンジ・ナンバー、オン/オフ時に送信する値、アタック・タイム/リリース・タイムを設定できます。

▲ MIDIメッセージは、X-Yパッドに設定したMIDIチャンネルで送信します。

X-Y Pad Touch/Release Enable [Disable/Enable]

タッチ/リリースの有効/無効を設定します。

Control Change Number [0... 127]

送信するコントロール・チェンジ・メッセージのコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

On Value [0... 127]

X-Yパッドを触れたときに送信するメッセージの値を設定します。

Off Value [0... 127]

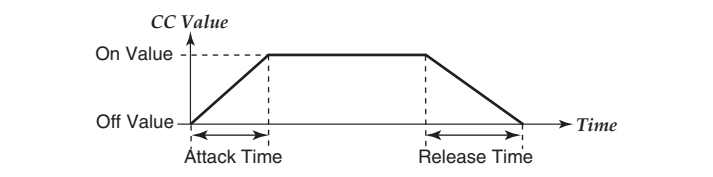
X-Yパッドから指を離れたときに送信するメッセージの値を設定します。

Attack Time [0... 127]

X-Yパッドに触れてからOn Valueになるまでの時間を設定します。

Release Time [0... 127]

X-Yパッドから指を離してからOff Valueになるまでの時間を設定します。



工場出荷時の状態に戻す方法

[HOLD]ボタン、[FLAM]ボタン、[SCENE]ボタンを押しながら電源を入れると、本機の設定が工場出荷時の状態に戻り、シーンLEDが点灯します。

▲ 工場出荷時の状態に戻す処理は、電源を入れてから数秒程度の時間がかかります。この間は絶対に電源を切らないでください。

故障とお思いになる前に

電源が入らない

・nanoPADとコンピューターを、USBハブを経由して接続しているとき、電力不足で電源が入らない場合があります。その場合はUSBハブを経由せず、コンピューター本体のUSB端子に直接nanoPADを接続してください。

ソフトウェアが反応しない

・接続したコンピューターにnanoPADが認識されていることを確認してください。Windows XPの場合は、コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」の「ハードウェア」タブ・ページで確認してください。

Windows Vistaの場合は、コントロールパネルの「ハードウェアとサウンド」→「ハードウェアとデバイスを表示」→「デバイスマネージャ」の「サウンド、ビデオ、およびゲームコントロール」のタブで確認してください。

Mac OS Xの場合は、「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Audio MIDI 設定」の「MIDI 装置」タブ・ページで確認してください。

・ご使用になるアプリケーションのMIDI　ポート設定で、nanoPADが設定されていることを確認してください。

・ご使用になるアプリケーションが、本機の機能に対応していない場合があります。アプリケーションの取扱説明書を参照し、確認してください。

仕様

接続端子:	USB端子 (mini B type)
電源:	USBバス電源方式
消費電流:	約100 mA 以下
外形寸法(W×D×H):	320 mm × 82 mm × 16.5 mm
重量:	330 g
付属品:	USBケーブル、取扱説明書

※ 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。